

ぬくもり

編集と発行 人権啓発ネットワーク大東
〒574-8555 大阪府大東市谷川1丁目1番1号
電話 072-870-0441 FAX072-872-2268

人権啓発ネットワーク大東会員交流フィールドワーク

自分自身の世界を築くことで生まれる

喜びと幸せのカタチ
やまなみ工房 ATELIER YAMANAMI

世界中を不安にさせた新型コロナウイルスもピーク時に比べ、落ち着きを取り戻し行動制限も解除になったことから、4年ぶりに人権啓発ネットワーク大東主催のフィールドワークが開催されるとのことで参加してきました。行先は滋賀県甲賀市にある障がい者施設やまなみ工房です。

施設に到着すると、まず初めに副施設長の早川さんが、メディアで紹介された動画を交えて施設の活動、そして、活動されるメンバーの方々について説明してくださいました。まわりに人がいないときにだけ言葉を発しながら、地蔵を作り続ける山際正己さん、一日中「サッポロ一番しょうゆ味」を20年以上寝る時以外持ち続ける酒井菜穂子さん、墨汁と割りばしを使って寝ころんだ状態で個室にこもって絵を描く岡元俊雄さん、70歳から10Bの鉛筆だけを使って大きな紙に絵を描き



続ける井上優さん、紙や陶土に一定の法則に従い、「目、目、鼻、口」の順に点を刻んでいく吉川秀昭さん、複数の色の糸を使い縦縫いを繰り返し続ける田中乃理子さんなど、一部の方の紹介ではありましたが、どなたも私の想像をはるかに超えていました。

そのあと、作業場を見学し、入所者が実際に作業している様子や作品を見せていただきました。ここで作られたものは国内のみならず、描いた絵を生地にプリントした服がパリコレに登場するなど、海外でも注目されているそうです。このように注目されている場所ですが、作業場の中は穏やかな空気が流れていました。考えるに、それはスタッフたちの心がけだと思います。

全てを“イエス”と肯定し“貴方はあなたのままでいい”と自分だけの表現を純粋な作品として評価し、外

からの評価を副次的な^{ふくじてき}こととし、一人ひとりのメンバーの個性や感性を活かして、生きがいや満足感、安心感^{しゅうたいせい}をもち、喜びや幸せを感じられるような^ふ振る舞い^まに終始^{しゅうしてつ}徹するその姿勢、努力には頭が下がりました。だからこそ、メンバーとスタッフが互いに認め合い尊敬しあっているのでしょう。

作業場を見学したあとはその幸せや喜びの集大成ともいえるギャラリーを見学し、メンバーが感じ、作り上げた幸せのカタチにただただ^{あつとう}圧倒されるばかりでした。今回の見学を通じて、私は、「障がいのある人もない人も共に生きやすく心優しい豊かな社会の構築^{こうちく}」の一つのカタチを感じることができました。社会全体がこのような世界になるのにはまだまだ時間がかかるかと思いますが、私たちが障がいをもつ人に対して何ができるのか、そのことを改めて深く考えさせられるすばらしい機会になりました。



(レポーター:しんすい)

人権啓発ネットワーク大東設立10周年記念

人権啓発ネットワーク大東は2023年4月で設立10周年を迎えました

1：人権啓発ネットワーク大東マスコットキャラクターの名前大募集！

今年10周年を迎える人権啓発ネットワーク大東を広く知って頂き、身近に感じて頂くため、マスコットキャラクターを募集しましたところ、124作品のご応募がありました。

そして、その作品の中から会員投票及び選定委員会を経て

以下のマスコットキャラクターに決定しました!!



プロフィール

すべての人が、生まれながらにもっている権利「人権」。自由・平和・正義をイメージした妖精です。四つ葉のクローバーを頭につけ、ハートの羽根やポシェットをつけ、皆幸せに過ごせると願いを込めたキャラクターです。

そこで、今回選ばれたこのマスコットキャラクターの名前を募集します！

優秀賞（採用作品） 現金 1万円

（学生の場合は図書券1万円分）

*応募者全員に参加記念品

応募期間

8月21日～9月15日

- ・応募は市内在住・在学・在勤者に限ります。
- ・応募方法など詳細につきましては人権室のホームページをご確認ください。



2：人権啓発ネットワーク大東の愛称大募集！

優秀賞（採用愛称） 現金 1万円

（学生の場合は図書券1万円分）

*応募者全員に参加記念品

応募は市内在住・在学・在勤者で一人一点に限ります。

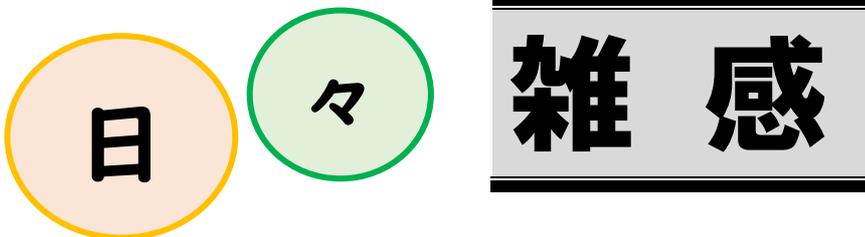
応募期間

8月21日～9月15日

- 例えば・・・「ネット大東」、「NT だいとう」など
 人権啓発ネットワーク大東に関係する愛称ならなんでも OK!!
 応募方法など詳細につきましては人権室のホームページをご確認ください。



みなさんのご応募お待ちしております!!!



「今になり感謝の気持ち」

先日、日ごろは元気な私が体調不良で日常生活に差し支えるほど大変な思いをした時に、20年前に65歳で長い闘病生活を経て亡くなった母のことを思い出しました。

やらなくてはいけない事は多いのに、病気で思うように身体が動かず、気持ちがついていかない

ジレンマにいらだちを感じながら、ふと思いました。母は、^{おさな}幼い私を^{かか}抱えこんな気持ちで子育てしてくれていたのだと、今になり^{かんしゃ}感謝と^{もう}申し訳ない^{わけ}気持ちになりました。

日々の家事、食事やお弁当作り・・・当たり前と思われることも、母には^{こんなん}困難だったと思います。それなのに、(なんで他の家のお母さんと違うの?)と思った事も正直ありました。母を^{こま}困らせた言葉を言った事もありました。今頃反省では遅いですね。

母の遺品整理をしていると、^あ編みかけのセーター、^{とちゅう}途中までの^{きぼ}木彫りや^{ししゅう}刺繍、ハーモニカ・オカリナ・^{たいしょうごと}大正琴などたくさんの^{しゅみ}趣味ものが出てきました。なんでこんなに途中までのものや趣味ものが多いのだろうと思いましたが、今考えると、母の残したものは、いつか元気になって仕上げる、やりたい事があることが生きる^{あかし}希望の証だったのかなと・・・。

私がしたい事、やりたい事は決して反対せず、何でもやりなさいと言う母でした。^{ちゅうとほんば}中途半端で終わらせる事も多々ありましたが何も言わず、次にする事にも何も反対せず「何でも^{けいけん}経験。」「自分の知らない場所や、^{おい}美味しい^{きょうど}郷土料理や、学べる場所には行けるなら行きなさい。」とよく言っていました。

その言葉の意味が母の最高の^{いびん}遺品でした。

すれば良かった・あの時行けば良かったなど^{こうかい}後悔することなく、今できるのならばするという人生を歩みたいと思います。こんな事を思うのも、母の亡くなった^{とし}歳に近づいてきたからか、なんて思う今日この頃です。生きている限り日々を大切に過ごしていこうと思います。そして、この世に私を生んでくれた母に「ありがとうございます。」

(レポーターなっちゃん)

★ 会員募集

人権意識をたかめるための研修会などへの参加・参画。
人権尊重の理念を広く市民に広げるための啓発・広報活動など。会費等はありません。

★ ヒューマンライター募集

大東市で人権推進につながる取り組みを行っている方々の取材をしていただける方(ヒューマンライター)を募集します。



【応募方法】様式は問いません。

ご住所 お名前 電話番号を記載の上 郵送、FAX でお願ひします。

〒574-8555 大東市谷川1-1-1

大東市役所 (市民生活部 人権室内)

人権啓発ネットワーク大東事務局

TEL: 072-870-0441

FAX: 072-872-2268

Facebook(フェイスブック)

人権啓発ネットワーク大東の活動がみなさんに届くよう、Facebook ページを開設しました！ぜひ、フォローお願いします！

(Facebook で「人権啓発ネットワーク大東」を検索！⇒)

